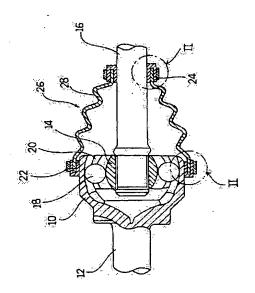
Back to list

3-3/3Next page From 3 Count Display format [P801] Bibliographic Data, Abstract, Drawing, etc. Display checked documents Check All Uncheck All] ** Format(P801) 2005.12.16 С Application No./Date: 1983-157039[1983/10/11] 1985- 64362 Translate [1985/ 5/ 7] Public Disclosure No./Date: Registration No./Date: Examined Publication Date (present law): Examined Publication No./Date (old law): PCT Application No.: PCT Publication No./Date: Preliminary Examination: () Priority Country/Date/No.: () [] (Domestic Priority: Date of Request for Examination: [1986/12/ 2] Accelerated Examination: Kind of Application: (0000) Critical Date of Publication: [1983/10/11]() No. of Claims: (1)Applicant: MITSUBISHI MOTORS CORP Inventor: TANAKA HIROSHI, ASHIKAWA AKIRA, ISHIDA TATSUO IPC: F16J 3/04 FI: F16J 3/04 F16D 3/84 C F16J 15/52 C F16J 15/52 C F16D 3/16 F-Term: 3J045AA04,AA10,BA03,CB06,CB10,CB16,CB18,EA03,3J043AA03,DA20,FA03,FA06, FB03,FB04 Expanded Classicication: 221,142,262 Fixed Keyword: Citation: [, Title of Invention: Boot for protection against dust Abstract: [ABSTRACT] Sealing effect is preferable and because hasamiso does a product made in ringed gum bushing in at least one open end bezel of boot body made with synthetic resin, and light-weight is cheap and, about boot for protection against dust of universal joints such as auto, can be superior to durability.



識別記号

@Int,Cl.*

砂代 理 人

社

弁理士 広渡

蘊彰

⑩ 日本国特許庁(JP)

①実用新案出願公開

@ 公開実用新案公報(U)

庁内整理番号

7523-3 J 7006-3 J 7111-3 J F 16 J 3/04 F 16 D 3/84 審査請求 未請求 (全 頁) F 16 J 15/52 図考案の名称 防塵用ブーツ 迎実 願 昭58-157039 の出 願 昭58(1983)10月11日 岡崎市橋目町字中新切1番地 三菱自動車工業株式会社乗 洋 個考 案 者 田 用車技術センター内 芦 Ш 亮 岡崎市橋目町字中新切1番地 三菱自動車工業株式会社乗 份考 案 者 用車技術センター内 岡崎市橋目町字中新切1番地 三菱自動車工業株式会社乗 砂考 案 者 石 田 逄 夫 用車技術センター内 東京都港区芝5丁目33番8号 ①出 願 三菱自動車工業株式会

- 1. 考案の名称 防應用ブーツ
- 2. 実用新案登録請求の範囲

ポリエステル樹脂等合成樹脂で作られたブーツ本体の少くとも一方の閉口端縁に環状のゴム製ブッシュを挾装してなることを特徴とする防塵用ブーツ。

3. 考 案 の 詳 細 な 説 明

本考案は、自動車等の車両において広く採用されている等速ショイント、各種ボールショイント などの自在接手における防塵用ブーツの改良に関するものである。

例えば等速ジョイント等、駆動部材と被励部材と被励部材とを変したないのの無しかかののでは、可変のを装置にないでは、できまっては、できまででは、できまででは、できません。 従来、このでは、一般に、クリルゴム、サンンゴムをできる。 低格が高く、 価格がよった。 価格が高く、 価格がある。 には、 しかもれているが、 重量が大きく、 価格が高く、 しかもれているが、 重量が大きく、 価格が高く、 しかも

(1)

666

公開実用 昭和60-

耐久性が充分とはいえない不具合があった。

119

本考案は、従来のブーツにおける上記欠点を改善するために創案されたもので、ポリエステル樹脂等合成樹脂で作られたブーツ本体の少くとも一方の閉口端緑に環状のゴム製ブッシュを挾装してなることを特徴とする防塵用ブーツを要旨とするものである。

以下本考案の実施例を添付図面について具体的に説明する。先づ第1図は、一般にせいる自在継手と呼ばれている自具を呼ばれている。 先の等速と、一端に外輪10を異えたの第14を異えたの第14を異ないの内輪14を異ないの内輪14に伝動用がものに嵌動にはないのでは、一次のの一方の関ロには、他方の開ロには、他方の開ロには、他方の開ロには、他方の開ロには、他方の開ロには、他方の内閣には、大学の大学を表している。

上記ブーツ 2 6 は、例えばポリエステル系合成 (2) 樹脂等適宜の合成樹脂によって作られた中空筒状のプーツ本体28を具え、同本体の両閉口端22、24の端縁には、第2図に詳細に示されているように、間方向に延びた環状のゴムブッシュ30は、断面に対している。更に、がおって、なりの外の面には、縮付けバンド34が接装されて同ブッシュ30を外輪10及び(スは)第2軸16の外周面に対し圧接している。

・上記構成によれば、プーツ本体30が安価かつ 軽量で、耐久性が優れたポリエステル系等の合成 樹脂で作られており、一般に重く、高価で合成樹 脂よりも耐久性が劣るゴムがは、ゴムが外気に 30だけで、しかも同ブッシュの密対面に 後することがないので、結局をとかがでは 性に富むブーツ26を実現することがでので をとてアーツ26を実現することでのでで もる。なか、ブーツ26を確付ける場合には、 作り単に締付バンド34で離付ける場合には、 つ、合成樹脂材がゴム材に戦べて伸びにくいため、

をお、上記実施例は、本考案を等速自在継手に適用した場合に関するものであるが、本考案は、自動車のサスペンション用ポールジョイントチアリンケージにおけるボールジョイント等にものである。 更にブーツの関口端の何れか一方に本考案を適用し、他の問口端は別の適当を手段によって軸等に固治してもよ

(4)

va .

叙上のように、本考案に係る防塵用ブーツは、 ポリエステル樹脂等合成樹脂で作られたブーツ本 体の少くとも一方の開口端縁に環状のゴム製ブッシュを挟装してなることを特徴とし、軽量かつ安 価で密封性がよく、耐久性が優れたこの種ブーツ を提供し得るので極めて有用である。

4. 図面の簡単な説明

第1図は本考案の一実施例を示す断面図、第2 図は第1図の鎖線内 II で囲んだ部分の拡大断面図 である。



10…外輪

1 2 … 第 1 軸

1 4 … 内輪

1 6 … 第 2 軸

18…ポール

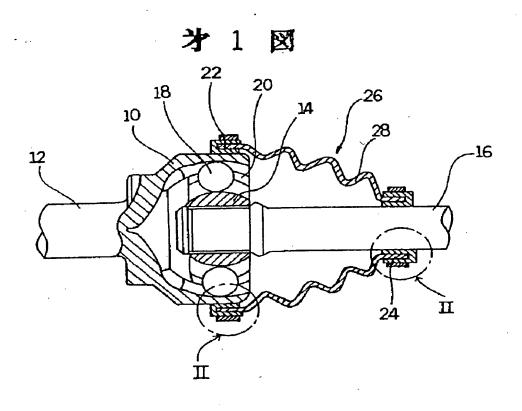
2 6 … プーツ

28 … ブーツ本体

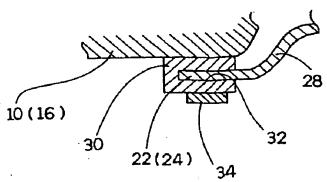
3 0 …ブッシュ

代理人 弁理士 広渡 禧 草





学 2 図



侧人 広渡禧彰

